



県道整備などを申し入れる上野県議(中央)ら＝6月27日茨城県竜ヶ崎工事事務所

## 茨城県工事事務所と取手警察に要請 市民アンケートをもとに

日本共産党上野たかし県議・取手市議団

6月27日、日本共産党上野たかし県議と取手市議団は、茨城県竜ヶ崎工事事務所に対し、市民アンケート（日本共産党取手市委員会実施）等に寄せられた県道の整備や安全対策について、32項目の要望書を提出し、実現を求めました。県管理の294号線の危険箇所優先の整備

促進、歩道のない県道に歩道設置と交差点のスクランブル化など、また取手警察署に対し信号の設置・改善、路面標示の白線塗り替えなど歩行者の安全最優先の対策を求めました。

回答等詳細については、別途「明るい取手」にてお知らせします。

### 悪法成立のための延長国会は許されない

6月22日、自民、公明両党が今国会を7月22日まで延長することを決めました。「働かせ方大改悪」法案やカジノ法案などの悪法を数の力で成立させるため、及び参議院の1票の格差問題を回避するための公選法改正案を通すためです。この公選法改正案、参議院の1票の格差問題を、参議院の「議席を増やす」ことで当面回避しようとする法案。しかしその増やし方は、自民党に都合のいい結果となるように仕組みられたもの。極めて身勝手なものです。日本共産党の志位和夫委員長は延長国会では「いま国民が政治に求めているものに答える国会にしたいと」強調。「最優先に取り組むべきは疑惑の究明であり一連の悪法は廃案にすべき」と述べました。こんなに歪んだ会期延長は絶対に許されるものではありません。

### 県議会

## 病児保育の充実、保健所統廃合で質問

——保健福祉医療常任委員会——

6月12日の議会委員会で上野たかし県議は、看護師等修学資金貸与条例改定、病児（病後児）保育の研修会の実施、現在12カ所ある保健所を9つに減らす問題について取り上げました。



### 病児保育職員研修会の実施を

厚生労働省は2015年から3年連続で、病児・病後児保育を行っている看護師・保育士などの研修会を行うよう指示文書を出し、東京都はすでに行っています。

病児保育所で働く看護師から「部屋で嘔吐した場合は消毒をして別の児童を入れてよいのか」など、保育するうえでの悩みや不安が多く、「県内の病児保育所職員の

研修会を行ってほしい」と要望があり実施を求めました。

県子ども未来課長は、「市町村の意向や他県の状況を踏まえ検討していく」と答えました。

上野県議は「県で実施するまでは他県の研修会に参加できるように調整してほしい」と併せて要望しました。

### 安倍内閣支持率調査低落止まらず

(自民独自調査)

最近の安倍内閣のメディア世論調査は支持率下げ止まりを報じていますが、自民党独自の内閣支持率世論調査では3月に39.4%あったのが4月には22.3%、5月にはなんと20.6%まで落ちており(週刊フライデー6月15日号掲載)関係者は危機感を募らせています。

### 米朝会談の歴史的意義と展望

6月12日の米朝首脳会談について、具体性に乏しい等、懐疑的、悲観的な見方が一部にあります。日本共産党の志位委員長は、14日の記者会見で、「非核化と安全の保障を米朝が相互に約束し、朝鮮半島に永続的で安定した平和体制を構築することを宣言した今回の会談のもつ歴史的な意義を見誤ったものだ」と指摘し、以下について述べました。

「長期に渡って敵対してきた米朝は相互不信も強い国同士。1回の会談で一挙に解決を図ることは

### 志位委員長が記者会見

どだい無理な話。史上初の首脳間の合意であり、関係国・国際社会が協調してこのプロセスを促進し、ねばり強く実らせていく努力が大事」と述べました。安倍首相が日朝の直接対話に意欲を見せたことについて問われ「対話否定・圧力一辺倒の破たんにより転換を余儀なくされたもの。核・ミサイル・拉致問題解決などの諸懸案を解決し、国会正常化をはかるため本腰を入れた対話を追及すべきだ」と述べました。

### 健康危機管理体制強化を図るなら 保健所統廃合やめよ

知事は議会の初日、「保健所は新型インフルエンザ等の新興感染症対策や、大規模災害時の医療救護体制確保など健康危機管理体制強化を図る必要がある」とのべつつ、「保健所を現在の12カ所から9カ所と提示したい」と矛盾する説明をしました。

上野県議は委員会で「難病患者は毎年保健所に申請に行く。電車で片道1時間半もかけなければならぬところもある。保健所の削減は認められない」と質問。県厚生総務課長は「窓口をつくる」と

答えましたが、上野県議は「以前も2カ所減らされた時、窓口の開催日は週1日から3日と聞いた」と迫りました。県課長は「小さな保健所は今でも対応しきれない。医師である保健所長も5カ所で兼務となっている。適切でないため出来るだけ早く対応したい」と統廃合の理由を述べました。

保健所体制の強化を図るというなら、現在の12カ所全てに保健所長を配置し、十分な体制を図ることこそ必要と強く求めました。

6月7～22日まで開かれた取手市議会。関戸・小池両市議の一般質問を紹介します。

### 6月市議会 日本共産党の 一般質問

#### 幹線道路の被害予測 対策を

関戸 勇 市議

取手市は茨城南部直下型地震の震源域にあり、旧取手地区は起伏が多く、昭和40年代から低地を大規模に埋め、住宅地が開発されています。こうした特徴から、幹線道路などの被害を予測し対策を立てるよう求めました。

市は今年度、路面の地下空洞調査を実施する予定とし、市長は、201

1年の地震でどのような事態が起きたのか、危機的対応について再検討すると回答しました。

私は、「地震で同時多発火災が発生する、消火栓も稼働しない」とした火災の延焼予測(シュミレーション)を行い、避難に生かすよう求めました。

消防長は、「100か所以上火災が発生すると国は予測。国のシュミレーションソフトを購入し検討すると答弁しました。

#### 暮らし・福祉優先の まちづくりを求めて

小池えつ子市議

多くの意見が寄せられている「コミュニティバスの運行改善」を再度求めました。「希望のルートがない」「片道運行を往復運行にしてほしい」など、たくさんの声を受けました。高齢化が進み今後、車を手離さなければならぬ方が増えていきます。

「誰もが気軽に利用できるコミバス運行を」は、多くのみなさんの要望です。コミバスの増便と料金の低額化、及びデマンドタクシーの活用を求めました。

しかし市は、交通困難者の要望に応える意思は示しません。引きつづき、みなさんと力を合わせてがんばります。

## 市は大地震に備えよ 今年度「路面の地下空洞調査実施」予定 市・答弁

## いじめ、災害から子どもを守れ 教育委員会に申し入れ

教育長に申し入れられる上野たかし県議と共産党市議団  
6月21日、取手市役所・藤代庁舎



5月25日、市議会総務文教常任委員会で、去る3月24日に行われた保護者会に対して、ご両親や保護者の方からこれまでの教育委員会の対応についての疑念や、再度の保護者会の開催要望が寄せられました。

6月14日の総務文教常任委員会では、ご両親や保護者がいない中、教育委員会の一方的な弁明

が述べられました。市や教育委員会はこうした何らの反省も見られない姿勢を改めるべきです。

日本共産党は、「元担任出席による保護者会の開催」、「市と教育委員会は真に反省し総括を行うこと」、「いじめ・自死事件が二度と起こらない様、教育行政の信頼回復に努める事」などを教育委員会に申し入れを行いました。

#### 通学路・学校設備の総点検と安全対策を

6月18日の朝襲った大阪北部を震源地とする地震で、小学校プールのブロック塀が倒れ、通学途中の小学4年生の女子児童が亡くなった事故は、多くの学校関係者を震撼させました。

日本共産党上野たかし県議と市議団は、21日市教育委員会に対し、「安全な学校・通学路の総点検を求める緊急申し入れ」を行いました。

市教育委員会は、各小中学校に「18、19日の両日に危険個所の一斉点検を行うよう」指示。スクールガードと、PTAに通学路上の危険個所を調査し報告をお願いしているとしています。毎日通う通学路の安全対策は、待たなしです。日本共産党は、引き続き安全な学校・地域へみなさんと力を合わせます。ご意見・要望をお寄せください。

### 12月県議選の争点(シリーズ2)

## トイレなきマンション 東海第2原発 国民の声で運転延長でなく廃炉を 核燃料がある限り危険性は消えない

### 再稼働しなくても 大きなリスク 東海第2原発



2017年12月茨城県議会予算特別委員会 質疑

再稼働しなくても大きなリスクがあるのが原発です。そこに核燃料がある限り危険性は消えません。

東海第2原発は、原子炉建屋の高い位置に燃料プールがあり、許容量 2250 体に対し現在 2202 体でほぼ満杯状態です。頼みの綱、むつ市の貯蔵施設は稼働していなく、六ヶ所村再処理工場は技術的不具合が山積み、本格稼働は見通しが立っていません。

6月定例水戸市議会では「東海第2原発の再稼働は認めない」意見書可決。取手市議会は、2011年9月に県内先駆けて意見書採択しました。